新品種・新技術の確立 支援事業 取組概要 (H30~H31)

『山間の夏季冷涼な気候を活用した夏どりイチゴの産地づくり』

=奈良県=

【全体概要】県内の多くを占める山間部は農業には不利であるが、標高の高い山間地の夏季冷涼な気候を生かした新たな品目導 入の可能性がある。県外山間部において夏どりイチゴの産地が増えつつあり、本県において、四季成り性イチゴをもちいた近畿で 希少な夏どりイチゴの産地化を目指す。

※四季成り性イチゴ:年中花芽分化が可能であり、夏場も収穫が可能な品種

新品種・新技術等の概要

「四季成り性イチゴの生産技術の導入」

- 〇普及状況:県内では、四季成り性イチゴの栽培は行われ ていない。全国的にも四季成り性イチゴの栽培は夏季 に冷涼な気候の北海道、東北地方及びその他地域の 山間地に限られている。
- 〇奈良県天川村(標高800m)で下記の主要品種を試作し、 当地に適合した品種を選定し、その産地化を目指す。
- ①夏の輝(九州・沖縄農業研究センター)
- ②デコルージュ(東北農業研究センター)
- ③信大BS8-9(信州大学)
- (4)すずあかね(ホクサン株式会社)
- ⑤ペチカ((株)ホーブ)
- ⑥サマールビー((有)ミカモフレテック)



収穫開始(6月~)

実施体制図

【奈良県農業研究開発 センター】

- ・栽培に関する助言 等 【奈良県農業水産振興課】 (農業革新支援専門員)
- 事業実施及び栽培に関す る助言 等

【奈良県南部農林振興 事務所】

- ・事業実施計画の作成、運営
- •栽培指導
- 栽培適性の調査







【実需者】

協力関係

情報共有

・販売

情報共有

- ・ 販路の開拓
- 消費者ニーズの把握



情報共有 マッチング

【生産者】 夏どりイチゴの生産

【天川村役場】

営協力

・事業実施の支援

試験栽培圃場の運

・試験栽培をおこなう圃 場の管理

主な取組内容

【品種の特性把握】

- ·実証展示圃の設置
- ・四季成り性イチゴ6品種の栽培適性評価

【産地・実需者の意向・ニーズ等の調査】

- ・実需者を対象に販売を希望する品種や果実品質、果 実重量、出荷方法等について意向調査
- 県外主要産地の導入品種等の事例調査 【検討会の開催】
- ・県研究機関等による安定生産の検討
- ・生産者と実需者を交えた試食会の実施

【栽培マニュアルの作成】

試験栽培を踏まえ特性をとりまとめたマニュアル作成。



実需者との意見交換会



村主催による試食会

課題と今後の対応

- ○品種試験の結果、品質良好で収量も安定した「サマールビー」と品質に優れる 「信大BS8-9」の2品種を選定した。次年度は確認の試験を行う。また、「信大 BS8-9」は品質が良いが収量が少ないため、収量向上を図るための定植後の 管理方法を検討する。
- 〇収量向上には収穫期間を延長する必要があるため、内張りカーテンや簡易暖房 を取り入れる必要。
- 〇販売先を複数確保する必要。
- ○面積を拡大し試験栽培に取り組む予定。その結果に基 づき栽培マニュアルの作成を行う。また、先進地視察な で得られた情報を元に栽培設備に関して助言を行う。
- ○温室内環境遠隔モニタリングシステムを導入し、ハウス 内の管理の省力化及びハウス内環境の情報収集を 行う。

次年度の栽培に向けての 検討会議